

書聖 川村驥山物語

天馬のように走れ 刊行。

二〇〇七年十一月二十日

袋井に生まれた天才書道家

川村驥山先生。

生誕百二十五周年を記念し

川村驥山物語を刊行。

明治、大正、昭和の時代、

日本の書道界をリードした

驥山先生の生涯を描いた。

那須田 稔 著

P202 ●四六判●

中学生～一般向き

定価 1,575 円(税込)



川村驥山は、明治十五年に静岡県袋井市の油山寺山門前に生まれ、父、東江から三歳のとき、「書」と「孝経」などの中国の古典を学び、五歳のときには、「孝経」二千字の全文を暗記して書くことができた。十二歳のとき明治天皇、皇后の銀婚式の祝いに書を献上、神童と賞賛される。のち書家として活躍、戦後、書道界初の日本芸術院賞を受賞する。これは、驥山の波乱に満ちた生涯を描いたものである。